

1st FILLTURE 児童発達支援 自己評価表

(別紙3)

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	1st FILLTURE			
○保護者評価実施期間	R6 年 6月 1日		～	R7 年 5月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	R7 年 5月 23日		～	R7 年 5月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 5月 27日			

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
質の高い支援を提供するために、設備や環境に力を入れています。	少人数で手厚い支援を実施しています。 子どもが楽しめる環境や課題提示を行っています。	応用行動分析や感覚統合療法など発達支援で必要だと考えるスキルを職員一人一人が持てるように、研修を行っています。また、専門的なスキルのある職員を採用していきます。
事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
職員の業務量に大きい偏りがあるため、業務分担の適正化を図っています。 研修等のイベントや保護者への面談など計画的に遂行していきます。	定時に退勤できる環境づくりや、経験などに応じた業務負担を尊重してきたことで、一部の職員に負担が偏っているため、全体での時間調整を見直しが必要だと考えます。 月曜日～土曜日まで通常支援を行っているため、職員の休日にイベントを開催することが難しい状態でした。	各々のスキル向上や、ガイドラインで求められている内容を職員が理解し、良いサービスを提供するための協力体制を強化して参ります。 子育てや学びに繋がる情報はInstagramなどSNSで発信していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 1st FILLTURE

公表日 R7年 5月 28日

利用児童数 25

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2			駐車場をもっと増やして欲しい 出入り口に見えるところで机上の課題を 行なっているため、出入りにより気が 散ってしまうのではないかと感じたこと があった。	駐車場につきまして、ビル共有の駐車場 が1台専用となってしまいました。皆様 へご不便をお掛けして申し訳ありませ ん。ビル管理者に何度もお願いしていま すが、特定の事業所を融通されている状態 です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	13					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	11	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	12	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	12	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	7	5		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	9	3		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	6		長期休み期間などで、ご家族やきょう だいで遊べる機会を強化していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		4		開設の自己評価は今回が初めてになります。年に1回はアンケートも実施します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	2			難しいかと思いますが、小学生になっても支援していただきたいと思います。内容やスタッフの皆さんという意味では満足しているが、レッスン時間がもう少し長いとありがたいです。	放課後等デイサービスの開業を視野に進めています。少しでも良い支援を提供するために、スキルのある職員と支援室の場所の確保に努めていきたい所存です。支援時間について、ご期待に応じられるように検討していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
1st FILLTURE		R7年 5月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			振り返りから次の目標設定をする時間をより確保するために、定期的に支援会議の開催が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		立場に関係なく意見が言えるように、風通しの良い職場づくりを行っている。	業務改善＝時短や効率のみを目的とした内容になりやすい。児童発達支援のサービスとしての質も保ちながら、有効な時間の使い方ができるように業務分担を行う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		コンサルティングとして他県にある外部の事業所からモニタリングを受けるなど、連携を取っている。	第三者評価をしている法人と繋がることのできたため、依頼を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		児童発達支援管とスキルのある一部の職員の考えで検討している。職員への共通理解を促すためにも最低限の知識・技能を持てるように研修していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別のファイルに収納し、確認しながら支援準備ができるようにしている。	ケース会議や担当者会議の際に、モニタリングを行い全体で確認していく機会を設けていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		支援会議の機会を設けて、チームで立案できるよう改善すると共に、立案できる職員に依存せず一人ひとり意識化を図る。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			毎回はできていないため、短い時間でも共有する場を設けていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		児童発達支援センターで研修を開催される際に、情報を頂けるように連携を図っている。	スーパーバイズや助言を受けるまでは至っていないため、児童発達支援センターで開催される研修には参加していきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		親子ひろばを開催している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		親子ひろばを開催している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子ひろばを開催している。	長期休みの期間を中心にきょうだい児に特化したイベントも検討していく。 保護者会を開催アンケートを行い、ニーズに応じた対応を行う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真は社内用のカメラを用意している。 LINEでのフィードバックには保護者へのご送信を防ぐために二重チェックを行っている。	保護者へのフィードバック用に個人のスマホにて写真を取ることもあり、流出防止のために、社内用の端末を増やしていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		親子ひろばを開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		マニュアルに沿った訓練が十分に実施できていない項目に関しては、今年度の課題として実施していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時等にアレルギーについての有無を確認している。おやつとして提供して問題がないことを事前確認している。	医師の指示書がない利用児のケースにおいては保護者へ確認していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットノートを作成し、都度共有している。 見守りカメラを設置している。	職員会議等で支援の映像を確認しながら支援場面を振り返る。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	防犯カメラ設置を行っている。 子どもに原因を求めない支援を行っている。 虐待防止委員を設置し、支援に無理がないかなど定期的に確認している。	研修の機会が不足していると感じている。 研修では虐待に当てはまる事例など日常の支援を振り返りを行う。 外部で開催される研修に参加していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		安全管理として、玄関等の施錠については保護者確認を行っている。	職員の入れ替わりもあるため、身体拘束についての共通理解は職員会議で共有していく。